

甲賀市教育委員会  
教育長 山下 由行 様

## 信楽学区保育園・小学校再編検討協議会 報告書

信楽学区保育園・小学校再編検討協議会（以下「協議会」という。）では、甲賀市教育委員会が示された『甲賀市幼保・小中学校再編計画』（以下「再編計画」という。）に対し、平成31年2月から4回にわたり、信楽学区の子どもたちのより良い保育・教育環境について、協議を行ってきました。

現在、信楽にこにこ園及び信楽小学校は児童数、学級数とも一定の規模を有していますが、将来を見据えたとき、当学区においても児童数の減少が見込まれており、一定の規模を保ち、子どもたちにより良い保育・教育環境を与えるためには、信楽地域内での学校の統合は避けては通れないものと理解しています。

まず、再編計画に示す学校規模について、1学年あたりクラス替えのできる学級規模は必要であると考えますが、1学級あたりの児童数については、児童個々へのきめ細やかな対応や教員の負担軽減等を考えたとき、やはり35人規模より少人数の学級編成が望ましいものと考えます。

次に、施設について、信楽学区は、市内唯一の保育園、小学校、中学校、高等学校が隣接する地域であり、立地的にも恵まれた教育環境であると考えています。しかしながら、現状施設は非常に老朽化が進んでおり、快適性はもとより安全面においてもたいへん不安を感じているところです。

このことから、信楽にこにこ園及び信楽小学校の建替えや改修を早期に実施いただき、特に信楽小学校については、信楽地域の子どもたちが行きたいと思うような魅力ある施設となれば、将来当学区の児童数の増加につながり、一定規模の教育環境を保つことができると考えています。

財政的にも厳しい折とは存じますが、次代を担う子どもたちへより良い保育・教育環境を提供いただきますようよろしく申し上げます。

令和元年6月28日

信楽学区保育園・小学校再編検討協議会  
委員長 川口 雄司